

# さまざまな腹痛

池野 一秀

長野松代総合病院小児科部長（長野市）

### ●心因性・慢性の腹痛には漢方を

前回、甘麦大棗湯のさまざまな効果をお話ししましたが、この処方歴は歴史小説でも重要な役割を演じます。白石一郎の『島原大変』という小説の中で、肥前島原藩の殿様が、普賢岳の噴火の折に激しい腹痛を起こし、全身がガタガタと痙攣します。それを藩医が甘麦大棗湯でびたりと止めるというエピソードが出てくるのです。このように、腹痛は器質的疾患ばかりでなく、心因性の原因でも起こることが、昔から知られていたのです。こうした心因性の腹痛にも、漢方薬の効果が期待できます。

こどもがお腹を痛がる場合、胃腸炎・虫垂炎などの感染症から始まって、胃潰瘍を含む胃の粘膜疾患、潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患、さらには器質的異常を認めない過敏性腸症候群など幅広い病気の鑑別が必要になります。急性腹症のように急性期の激しい痛みなら、血液検査・エコー・CTなど西洋医学的な診断と治療が優先されるのは言うまでもありません。しかし、慢性の腹痛を繰り返す、器質的疾患が見つからない場合の方が臨床の場では遭遇する機会が多く、こうした症例にしばしば漢方が有効性を示します。

### ●乳幼児の腹痛に小建中湯

腹痛に対する漢方処方の鑑別は、年齢と性別が役に立ちます。乳幼児の場合、腸内環境が安定せず、腸蠕動が不規則なため腹痛が起こると推察されます。典型的な症例を示します。

4歳の女の子ですが、便が固く、コロコロと兎糞様で、腹痛を頻回に訴えていました。腹部レントゲン写真（図1）を見ると、立位・臥位で腸管の位置がほとんど変わらず、腸管の平滑筋が強く収縮し、充満した便が凝り固まっている様子が見て取れます。このような場合、どのような処方を考えればよいのでしょうか。第一に、平滑筋の緊張を和らげる成分、例えば芍薬や甘草を含む処方が

図1 4歳、女児の腹部レントゲン写真



立位・臥位で腸管の位置がほとんど変わらず、腸管の平滑筋が強く収縮し、充満した便が凝り固まっている。小建中湯で改善。

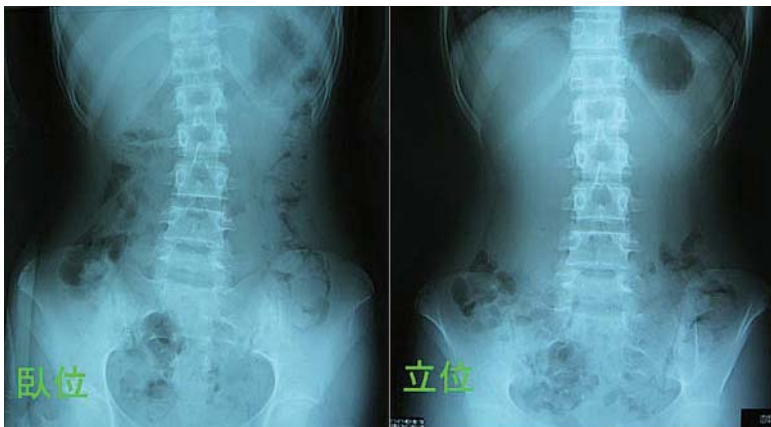
有効です。そのものズバリで芍薬甘草湯という選択肢もあります。この場合、芍薬に含まれるペオニフロリンと甘草成分グリチルリチンが受容体依存性収縮を抑制するというエビデンスが報告されています。

しかし、芍薬と甘草で腹痛を止めるだけでなく、腹痛の原因となる腸内環境を改善するためには、気を補い神経系を安定させる大棗や、スパイスとしても知られる生姜や桂枝を含む小建中湯が最も適していると思います。しかも小建中湯には膠飴という形で大量の麦芽糖も含まれます。麦芽はビールの原料のモルツであり、その煮だし汁はマルツエキスと呼ばれます。小児科医ならご存知の通り、マルツエキスは赤ちゃんの便秘に対する緩下剤として代表的な薬物です。宿便を取り、腸内環境を整えるにはうってつけかもしれません。実際、この症例も1カ月ほどで便通が安定し、腹痛もなくなりました。

### ●思春期女子の便秘と腹痛

さて、年齢が進んで中学生になった女子にも腹痛を訴える子が増えます。初潮をきっかけに便秘が始まり、腹痛が増えたという話も患者さんからよく聞かれます。実際、黄体ホルモンであるプロゲステロンが便秘を悪化させます。

図2 14歳、女子の腹部レントゲン写真



立位で腸管全体が骨盤内に下垂しており、腸管平滑筋が弛緩している。補中益気湯で改善。

次に示す症例は、便秘と嘔気を主訴に受診した14歳の女子です。腹部レントゲン写真(図2)を見ると、立位で腸管全体が骨盤内に下垂しており、先程の症例とは逆に腸管平滑筋が弛緩していると考えられます。この場合は、消化管を持ち上げる「昇提作用」がある補中益気湯で効果があります。治療を行うと、2週間ほどで嘔気は消失し、便秘も2カ月くらいかけてゆっくりと改善していきました。

さらに、腹痛を訴える思春期の女子では、お臍の周囲に圧痛点があり、手足も冷えて瘀血が疑われる例が多数認められます。このような女の子はたいてい生理痛や生理不順を伴っており、ホルモンバランスの崩れを疑わせます。そうした女の子たちには、当帰建中湯がぴったりです。当帰建中湯の投与で、腹痛と同時に生理痛や手足の冷えも改善して感謝されるケースも少なくありません。

### ●小児過敏性腸症候群

同じ腹痛でも、女性はホルモンや瘀血のからみもあって処方を選択は一筋縄ではいきませんが、それに比べると男の子は単純です。腹痛の始まりが入園・入学や進学に関係することがほとんどです。つまり、環境の変化により心因性のストレスがたまり、過敏性腸症候群をきたしているのです。特に発症が多い年頃は、中学1年生です。

小児過敏性腸症候群の分類としては、日本小児心身医学会の分類によるとRAP型・便秘型・下痢型・ガス型とありますが、どのタイプでもとりあえず桂枝加芍薬湯の投与で腹痛はかなり改善します。どうしても便秘が続くようなら、大黃を加えた桂枝加芍薬大黃湯の方がよいかもしれません。逆に下痢の場合は、選択肢が複雑になりますが、人参湯・啓脾湯・真武湯などを投与し、効果を確認していくことになります。

### ●発作的な心窩部痛

発作的な心窩部痛を訴える場合には、最初に胃カメラなどで潰瘍性疾患を否定した後に安中散<sup>あんちゅうさん</sup>を頓用すると痛みが治まります。実は、安中散はさまざまな製薬会社から発売されている「〇〇漢方胃腸薬」の基本になっている処方です。いずれの会社も売り上げがとてまよいと聞いています。安中散はそれだけ速効性が実感でき、安全で多くの人に有効な処方なのだと思います。

### ●ストレスと胃腸症状

一方、心理的なストレスは交感神経を興奮させ、胃腸には悪影響を与えます。このストレスを和らげるためには、柴胡桂枝湯・柴胡桂枝乾姜湯・抑肝散加陳皮半夏<sup>さいこけいしとう さいこけいしかんきょうとう よくかんざんかちんぴはんげ</sup>など柴胡を含む処方の併用が効果的です。わかりやすい交感神経亢進症状としては、漢方医学的には弦脈ですが、脈診に自信がない場合でも手掌の発汗がよい目印になります。実際、有効な柴胡剤を投与すると、発汗が止まるのが確認できます。

表 こどもの腹痛によく使われる方剤

症状	方剤
乳幼児の便秘・腹痛	小建中湯
思春期女子の便秘・腹痛	気虚 補中益気湯
	瘀血 当帰建中湯
小児過敏性腸症候群	便秘 桂枝加芍薬湯 桂枝加芍薬大黄湯
	下痢 桂枝加芍薬湯 人参湯 啓脾湯 真武湯
発作的な心窩部痛	安中散
ストレスから起こる腹痛	柴胡桂枝湯 柴胡桂枝乾姜湯 抑肝散加陳皮半夏

### ●器質的疾患に注意

最後に、漢方治療で順調に過ごしていたのに、突然激しい腹痛が出現し、今までの治療で止まらない場合です。実際に経験した例ですが、過敏性腸症候群の患者さんに、虫垂炎や胃潰瘍の合併が起こることもあります。最初に血液検査や便潜血、胃カメラなどで器質的疾患を否定したとしても、その後の経過が長くなると安心できません。もともとストレスの多い環境で不調を訴えていた人たちですから、漢方薬で痛みが止まったのをよいことに、つつい頑張りすぎて器質的な病気を起こしてしまうことがあるのでしょうか。慢性反復性腹痛の経過中にも、器質的疾患の可能性を常に頭において診療する必要があります。



イラスト・池野一秀